

香取市地域公共交通協議会
(第 47 回協議会に係る追加・変更協議 資料)

目次

議事

- (1) 香取市循環バス（横断ルート）の本格運行について（追加協議）
- (2) 地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について（変更協議）

(1) 香取市循環バス（横断ルート）の本格運行について （追加協議）

現在、香取市循環バス（横断ルート）については、令和3年10月より実証路線として運行しているが、令和4年4月に一部過疎地域指定された山田地区、栗源地区を運行する本路線については、日々その重要性が増してきている。

その一方で、日常生活に必要不可欠な移動手段である公共交通の維持のためには、財源確保は急務である。

このたび、追加協議の「議事（2）地域内フィーダー系統確保維持計画（改正案）の策定について」に係る関係機関と協議した結果、当該ルートを実証運行から本格運行に移行することで、補助対象路線として補助申請することが可能となった。なお、計画申請期限は令和4年6月30日となっている。

については、当該路線の本格運行への移行について、次のとおり追加で協議する。

対象路線：香取市循環バス（横断ルート）

協議事項：実証運行から本格運行への移行

移行日：令和4年10月1日（土）

移行理由：

半年間の実証運行を経て、市域を大きくカバーする幹線的役割を担う路線としての有用性が確認されたため。

路線説明：

旭中央病院線の廃止に伴い、その代替路線として令和3年10月に新設した路線である。小見川地区・山田地区・栗源地区を横断運行し、「道の駅くりもと～橘ふれあい公園～小見川駅（交通結節点）」を繋げ、観光利用の取込みと交通空白地対策を担っている。

小見川駅から府馬線へ乗り継ぐことで、旭中央病院への通院が可能である。また、栗源地区から南原地の商業施設への買い物利用、おみがわ医療センターへの通院利用が可能となっている。

運行実績：

- ① 運行期間 令和3年10月から令和4年3月まで
- ② 経常経費 5,774,052円
- ③ 運行収入 286,691円
- ④ 収支率 5.0%
- ⑤ 乗車人数 1,405人（1便あたりの乗車人数2.9人）

※本格運行になる旨、運行事業者と協議済

(2) 地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について (変更協議)

本議事については、令和4年6月20日に開催した第47回香取市地域公共交通協議会において、「議事(3)地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について」という議題の下に協議され、計画路線である香取市循環バス(小見川ルート)及び香取市乗合タクシーに係る部分について、委員の皆様からのご承認を受けている。

このたび、香取市が令和4年4月1日から一部過疎地域に指定され、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金における補助上限額が大幅に引き上げられる余地が生じた。

また、既計画路線である香取市循環バス(小見川ルート)及び香取市乗合タクシーに加え、香取市循環バス(横断ルート)についても、小見川地区、山田地区及び栗源地区を運行し、JR小見川駅と接続する重要な路線であり、生活交通手段として路線存続を図る必要がある。

については、香取市循環バス(横断ルート)に係る部分を追記した「地域内フィーダー系統確保維持計画(改正案)」を別紙にて作成したので、その内容を変更することについて協議する。

追加路線：香取市循環バス(横断ルート)

「生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統確保維持計画(改正案))」：別紙1

※追加内容は、朱書き部分とする。

香取市循環バス（小見川ルート）（旧名称：小見川循環バス）及び香取市乗合タクシー（旧名称：小見川乗合タクシー）については、国の支援策である地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用し、路線維持を図ってきた。

引き続き補助を受けるために、道路運送法施行規則第9条の2に基づく地域公共交通会議（香取市地域公共交通協議会）において、令和4年6月20日、地域内フィーダー系統確保維持計画を協議し、承認を得た。

また、令和4年4月、香取市は一部過疎地域に指定され、佐原地区、山田地区及び栗源地区についても、住民の高齢化や、人口流出等による人口減少の問題が生じている。今後は、人口減少等に歯止めをかけるため、または、人口流入に繋げるため生活交通手段の確保・維持は、非常に重要性を増してくる。

このことから、市域を広くカバーすることができ、且つ当補助金交付要件を満たす香取市循環バス（横断ルート、本格運行）について、補助金を活用しつつ路線維持を図るためには、新たな当該計画について承認を得る必要がある。

については、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第17条の規定による「地域内フィーダー系統確保維持計画（改正案）」を作成したので、その内容を協議する。

●事業の目標（計画値）について

・香取市循環バス（小見川ルート）

【利用者数の増加】

現在の令和4年度計画（令和3年10月～令和4年9月）では、香取市循環バス（小見川ルート）の利用者数の計画値を、令和4年度12,000人、令和5年度12,240人、令和6年度12,480人と設定している。

この計画に対し、令和4年度上半期（令和3年10月～令和4年3月）の実績6,157人から推計すると、令和4年度計画の実績は12,300人程度と見込まれる。

新型コロナウイルス感染症が流行する以前の令和元年度（平成30年10月～令和元年9月）と比較すると、700人程度の減少が見込まれる。

	令和元年度 (H30.10~R1.9)	令和3年度 (R2.10~R3.9)	令和4年度上半期 (R3.10~R4.3)	令和4年度見込み (R3.10~R4.9)
高萩経由	5,612	3,796	1,266	2,532
城山公園経由	7,439	8,229	4,891	9,782
合 計	13,051	12,025	6,157	12,314

以上から、新型コロナ感染症の影響による利用者数減少からの回復傾向はあるものの、令和5年度計画の計画値は、令和元年度実績値 13,051 人まで段階的に数値を押し上げることを目標とした数値とする。令和3年度の増加傾向を加味し、令和5年度 12,550 人、令和6年度 12,800 人、令和7年度 13,050 人とする。

【収支率の改善】

令和5年度計画の計画値は、前述のとおり比較年度を令和元年度（平成30年10月～令和元年9月）実績の15.2%を基に、令和5年度14.6%、令和6年度14.8%、令和7年度15.1%とする。

・香取市乗合タクシー

【年間利用者数の増加】

現在の令和4年度計画の計画値は、新型コロナウイルス感染症の影響等を鑑み、令和4年度6,400人、令和5年度6,500人、令和6年度6,600人としている。

この計画に対し、令和4年度上半期（令和3年10月～令和4年3月）の実績3,154人から推計すると、令和4年度計画の実績は、6,300人程度と見込まれる。また、直近年度である令和3年度計画（令和2年10月～令和3年9月）の実績6,426人と比較すると、100人程度の減少となる。

	令和元年度	令和3年度	令和4年度上半期	令和4年度見込み
	(H30.10~R1.9)	(R2.10~R3.9)	(R3.10~R4.3)	(R3.10~R4.9)
利用人数(人)	6,396	6,426	3,154	6,308

以上から、令和5年度計画の計画値は、段階的な利用者数の増加を目標とし、令和4年度計画値にならい、令和5年度6,500人、令和6年度6,600人、令和7年度6,700人とする。

【収支率の改善】

現在の令和4年度計画の計画値は、令和4年度16.4%、令和5年度16.6%、令和6年度16.9%となっている。

この計画に対し、令和4年度上半期（令和3年10月～令和4年3月）の実績から推計すると、令和4年度計画の実績は16.1%程度と見込まれる。直近年度である令和3年度計画（令和2年10月～令和3年9月）の実績15.9%と比較すると、概ね令和4年度計画値通り順調に収支率は増加していると推察される。

以上から、令和5年度計画値についても、利用者数の計画値同様、令和4年度計画値にならい、令和5年度16.6%、令和6年度16.9%、令和7年度17.1%とする。

・香取市循環バス（横断ルート）

【年間利用者数の増加】

令和5年度計画の計画値は、令和3年10月から運行開始としているため、令和3年10月～令和4年3月の乗車実績を基に計画値を算出する。

令和3年10月～令和4年3月の実績値1,405人から推計すると、令和4年度計画期間の実績は2,800人程度と見込まれる。

以上から、令和5年度計画の計画値は、段階的な利用者数の増加を目標とし、令和5年度2,900人、令和6年度3,000人、令和7年度3,100人とする。

【収支率の改善】

令和5年度計画の計画値は、前述のとおり令和3年10月～令和4年3月の期間における乗車実績を基に算出することとし、令和4年度計画期間の収支率は5.4%程度と見込まれる。

以上から、令和5年度計画の計画値は、段階的な収支率の改善を目標とし、令和5年度5.6%、令和6年度5.8%、令和7年度6.0%とする。

●目標達成に向けた事業及びその実施主体

・香取市循環バス（小見川ルート）

公共交通マップを作成し、公共施設、小見川地区に存する中学校及び高校等に配布することで、運行情報の効果的な提供を行う。（香取市）

中学卒業予定者等に対し利用促進リーフレットを配布し意識啓発を行う。（香取市）

千葉県立小見川高等学校と連携した利用促進活動を行う。（香取市、高等学校）

・香取市乗合タクシー

公共交通マップを作成し、公共施設等での配架を通じて、運行情報の効果的な提供を行う。（香取市）

・香取市循環バス（横断ルート）

公共交通マップを作成し、路線沿線の公共施設及び商業施設等での配架を実施し、運行情報の提供を行う。（香取市）

小学生・高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する。（香取市）

※「生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画を含む）」は、別紙1の資料をご参照ください。